KS-50mini4G 機能の説明

１．電話をかける

インターホンを押すと４GLTE 回線に接続され、あらかじめ設定された通報相手先に電話をかけます。着信すると相手と会話が出来ます。

相手が電話を切れば、通話終了となります。

２．出入力３接点基盤を使用する　※オプション

２－１．出力リレーを制御する（遠隔操作）

通報相手先とのインターホン会話中に、通報相手先側の電話機のダイヤルキーを押すと出力リレーが動作し、ワンショット（０．７ｓ）のＡ接点で２種類の制御信号が出力されます。この動作は何度でも行うことが出来ます。

２種類の制御信号及びダイヤルキーについては以下の通りです。

○リレー１　・・・　ダイヤル　「７」

○リレー２　・・・　ダイヤル　「９」

※この機能をご使用の際は、通報相手先にドコモの端末（携帯電話・スマートフォン）はご利用になれません。

※固定電話を通話相手先に設定する場合、お使いの機種の設定等によりこの機能をご利用になれない場合がございます。（お使いの機種の取扱説明書などで DTMF 信号のやり取りが可能かご確認ください。）

※お使いの機種及び現地の電波状況により DTMF 信号のやり取りが不安定な場合がございます。その際はリレーが動作するまで何度かお試しください。

２－２．入力信号を使用する

精算機等の本機と繋いだ機器からの異常信号が入力されるとあらかじめ設定された通報相手先番号へ音声にて通報します。

上記出力リレーとの組み合わせで３接点まで使用可能です。（別紙参照）

異常入力は３つまで取ることができます。その際の音声ガイダンスは以下の通りです。

SW1「通報１番」　SW2「通報２番」　　SW3「通報３番」

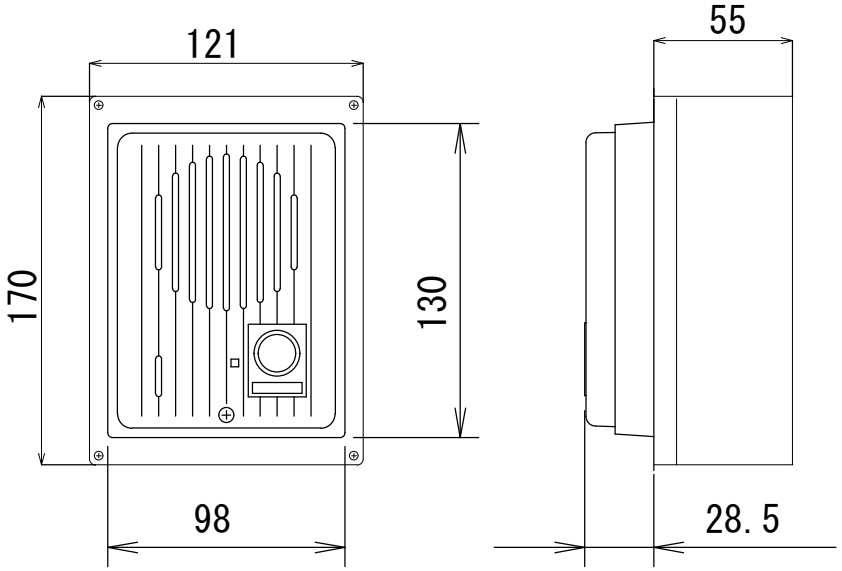
３．通報相手先の切り替え　※オプション

専用ケーブルを本体につなぎ、もう一方をスイッチもしくはタイマーに接続する事で、スイッチ OFF の場合は第一通報相手先、ON の場合は第二通報相手先へ電話をかけます。

Ⓓ

玄関子機

IF-DA



形　　状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）
材　　質	自己消火性樹脂